

最近の活動状況

〔主として09年の第3回総会（高崎）以降〕

仙台フィルハーモニークラブ（SPC）

1. 恒例行事

○「おもしろセミナー」

第18回「オーボエ物語」（09.10.11、講師：仙台フィル・西沢澄博さん）に続く第19回の講師と内容を検討中。このところ管・打楽器部門が続いたので、次回は弦楽器部門となる見込み。

○「茶話会」

演奏の余韻を味わいつつ会話を楽しむのが目的で、08年5月より継続開催中。日時は仙台フィル定期演奏会二日目（土曜日・マチネ）終演後。会場は青年文化センター内カフェレストラン。

席の確保や楽員への参加呼びかけなどの事前準備が担当スタッフの重荷となり、一時継続が危ぶまれたが、茶話会を「演奏活動賛助金」（後述）の贈呈や楽員との連絡・打ち合わせに使う事によって自ずと顔ぶれが揃うようになり、現在に至っている。

2. 「CDプレゼントキャンペーン」

昨年度は、新規に仙台フィル各種会員となったSPC会員に仙台フィルCD（販売価格¥2,500）を贈呈するというものであったが、今年度はSPC発足15周年記念としてSPCの会員拡大に焦点を移し、SPCへの新規入会者を対象に行った。これらのCDはSPCの年間予算で仙台フィル事務局から購入しているので、仙台フィル事務局へのCD販売協力ともなっている。

3. 「演奏活動賛助金」の贈呈

コンサートを自主企画して研鑽に励む団員を、いづらかでも応援しようとの素朴な動機で02年に開始された。最近では次のコンサートに贈呈されている。

・第17回…「タタル・ヘンリ&木下順子 デュオリサイタル」（09.11.22、イズミティ21小ホール）

・第18回…「Orchla 木管五重奏団演奏会」（10.5.9、名取市文化会館 中ホール）

第19回は「MASAYA TAKEUCHI PERCUSSION MESSAGE」（10.6.9、仙台市太白区文化センター 楽楽楽ホール）に内定している。

4. 会報『PHILHARMONY CLUB』とその号外『SPC通信』の発行

両刊行物とも1995年の創刊以来継続発行し、現在、会報（年3回発行）がVol.46、通信（ほぼ毎月発行）がVol.167に達している。双方とも全号が「宮城県図書館みやぎ資料室」に収蔵されて常時閲覧可能となっており、最近では一般市民のみならず業界関係者、報道関係者、研究者などにも閲覧されている。

その内、02年に開始したシリーズ「音楽堂問題を考える」の「その24」（本年新緑号）＝『群馬県高崎市における新音楽施設整備に向けた動き』の取材に当たっては、群響および群響ファンズの方々の絶大なご協力をいただいた。JOFC活動の意義の大きさを再認識すると共に、ご厚意に改めて感謝申し上げたい。

5. 今後の予定と展望

本年9月23日に発足15周年を迎えるので、11月20日（土）仙台フィル第251回定期終演後に記念パーティを行う。10月に仙台フィルが第250回定期を迎える事もあり、5年前の10周年記念パーティに劣らない盛会とするべく準備中。

15周年に因んでは年度始めの「HPリニューアル」、前記「CDプレゼントキャンペーン」に続く「ペアチケットプレゼントキャンペーン」などが行われている。

仙台市における「仙台国際音楽コンクール（SIMC）」や「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」、山形市における「アフィニス夏の音楽祭 in 山形」などによって、仙台フィルと山響、SPCとYFCの交流が盛んになっている。これらがこの地域の音楽文化の一層の発展に繋がるよう、今後も微力を尽くして行きたい。

2010年9月4日